FURUSATO no HOKORI

ふるさとの誇り 其の76

南プスの子宝伝説①

～妊婦さんの姿をした土偶（鋳物師屋遺跡）～

南アルプス市では子宝に関するいくつかの伝説や場所、モノに出会えます。少子化といわれているこんな時代ですので子宝にまつわるエピソードをご紹介しましょう。

今回は、世界に誇る日本縄文文化の「顔」といわれている、こちらの土偶です。

世界的に有名なのよ
知らないのはだぁ～れ？

私の華麗なる海外出張歴
平成7年　重要文化財に指定される
平成7年　イタリアローマ市立展示館
平成9年　マレーシア国立博物館
平成13年　イギリス大英博物館
平成14年　韓国国立中央博物館
平成18年　カナダ国立モントリオール博物館
平成21年　イギリス大英博物館
その他国内各地への貸し出しは数知れず。
※どれも半年程度の出張なので、
普段はふるさと文化伝承館にいますよ。

円錐形土偶（えんすいけいどぐう）

今から約五千年前、縄文時代中期の土偶で、高さ約二五㎝と大型、空洞で円錐のような形のお腹から円錐形土偶などと呼ばれています。

乳房があり、さらに大きく膨らんだお腹には左手を添え、お腹の赤ちゃんをいたわっている妊婦さんの姿を表現しています。大きなお腹を支えるのに、腰をおさえているのは現代も同じですね。

家族やムラが繁栄するためにも、元気な赤ちゃんとお母さんの健康、「命」・「家族」への願いがこめられています。鋳物師屋縄文人の愛情が伝わりますか。

この土偶をはじめ鋳物師屋遺跡で発見されたモノは世界各地や日本中の博物館で紹介されているだけでなく、さまざまな本や図鑑にも載っています。まさに日本縄文文化の「顔」が、南アルプス市にいるのです。

ほぼ完全な姿で出土した例は少なく、また、見た目の芸術性、そしてなによりも縄文人の「命」への願いや「祈り」などが感じられるところに世界中の方が強くひかれているようです。まさに子宝を象徴した土偶といえます。

鋳物師屋の縄文人が残してくれたメッセージは、現代でこそ受け止めるべきものなのかもしれませんね。

日本の宝ね！

もっとくわしく知りたい方はふるさと文化伝承館へ！

「顔」

原始・古代を扱う本にはほとんど登場しています。

日本縄文文化の顔役なの。

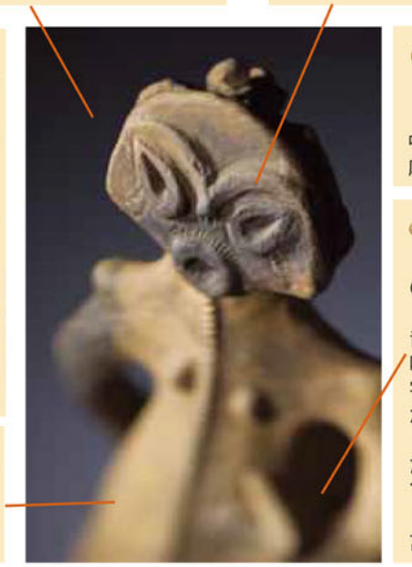
赤い土偶

よく観察すると表面が赤色なのがわかります。ほとんど消えていますが目などの深いくぼみを観てみて。神秘的！

赤ちゃんのお顔？

曲輪田にある北原C遺跡の土偶をよく観ると、鼻が上向きで、腫れぼったく細い目…まさに赤ちゃんの顔！

乳房があるし、赤ちゃんの顔に妊婦さんの体が合体？！



空洞のお腹には元々鳴子が入っていて鈴になっていたみたい。

鳴子は赤ちゃんを表しているとも。

第2回 ニックネーム総選挙！

下記エントランス展期間中にふるさと文化伝承館で応募してね。

指が3本！？

指が3本の理由はまだ謎のまま。

いくつかの説があって、昔からよく「三大〇〇」と呼ぶように「3」という数字が大切にされていたとか、多産なカエルにあやかってカエルのような指にしたとか、女神（偶像）なので、人間と区別するために5本以外にしているだとか言われています。

「女神」・「命」

土偶って、妊婦さんや、赤ちゃんの姿を通して「命」や「出産」、「家族」を祈ったものだったり、さらには「繁栄」「豊穣」などを象徴しているのかもしれません。

鋳物師屋遺跡の出身です

わたしが発見されたのは下市之瀬地区にある鋳物師屋遺跡。

平成4年に工業団地の造成のために発掘調査が行われ、縄文時代と平安時代の集落が発見されました。

なかでも縄文時代中期（約5000年ほど前）のムラの跡から発見された数万点の土器や石器、土偶が日本中で注目され、そのうち205点が国の重要文化財に指定されています！

子宝な土器も！

こちらの土器。同じ鋳物師屋遺跡の女神さま。

土偶のおなかの部分が土器になっているのが分かりますか？ちゃんと両手を広げておなかをかかえているんです。腰のラインで妊婦さんを表現していますよ。

ふるさと文化伝承館　エントランス展

「南プスの子宝伝説」

期間:8月9日～10月2日（木曜休館）

時間:9:30～16:30

会場:ふるさと文化伝承館（TEL:055-282-7408）

期間中　ミニチュア円錐形土偶（1/3サイズ）に色塗り体験できます（有料・常時）

7月30日までだった「フルーツ王国南プスのルーツ」は好評に付8月7日まで延長します。

土偶…縄文時代の土で作られた偶像・人形